

電子たばこの注意喚起について

1. 電子たばこについて

電子たばことは、専用カートリッジ内の液体を加熱して煙霧を発生させ、それを使用者が吸入するために使われる製品です（※1）。

※1 加熱式たばこと混同されることが多い製品ですが、加熱式たばこは、「たばこ葉やたばこ葉を用いた加工品を、燃焼させず、専用機器を用いて電気で加熱することで煙を発生させるもの」であり、電子たばことは異なります。

2. 電子たばこの健康影響と使用上の注意

現在、米国において、電子たばこによるものと疑われる肺疾患等の健康被害症例（※2）が報告されております。米国では、今般の健康被害症例の原因が分かっていないため、全ての電子たばこの使用を控えることを推奨しています。

https://www.cdc.gov/tobacco/basic_information/e-cigarettes/severe-lung-disease.html

※2 呼吸困難、息切れ、胸痛といった呼吸器症状が見られ、また、嘔吐や下痢などの消化器症状、発熱や疲労などの症状がある場合も報告されています。

電子たばこの使用と疾病及び死亡リスクとの関連について現時点では明らかではありませんが、上記のような海外の状況を踏まえると、健康被害を起こすおそれが否定できません。電子たばこを使用して、呼吸困難、息切れ、胸痛といった呼吸器症状が見られるなど、具合が悪くなった場合には、その製品の使用を直ちに中止し、医療機関を受診してください。

3. 現在までに収集している情報

1) 米国の状況

- ・電子たばこによるものと思われる健康被害症例のうち、多くの症例では、大麻関連成分であるテトラヒドロカンナビノール（THC）を含有する電子たばこを使用していたことが公表されています。
- ・現時点では、健康被害を引き起こす製品の種類や原因物質は特定されていません。

2) 日本の状況

- ・日本では、大麻関連成分であるテトラヒドロカンナビノール（THC）を含有する製品は、大麻取締法又は麻薬及び向精神薬取締法に抵触するため、国内への輸入、国内での製造・販売又は所持することは禁止されています。

厚生労働省では、引き続き、電子たばこ使用に関する健康影響について情報収集を行っています。